

事業所名

ほっこりの里 児童発達支援・放課後等デイサービス

支援プログラム

作成日

令和8年

3月

1日

法人（事業所）理念	多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成され、又は自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、社会福祉事業を行う法人です。							
支援方針	<p>一、私達は、障害が有っても地域で、自信を持って生きていけるよう、能力の発見に努め、その力を発揮できる支援を行います。</p> <p>一、私達は、障害が有っても地域で、自立して生きていけるよう、様々な社会資源と連携した支援を行います。</p> <p>一、私達は、障害が有っても地域で、輝いて生きていけるよう、人としての誇りを大切に考え、その意思を尊重します。</p> <p>一、私達は、障害が有っても地域で、幸せに暮らせるよう、家族の介護負担の軽減に努めます。</p>							
営業時間	平日 学校休業日 土曜日	10 9 10	00 00 30	17 17 15	30 30 30	分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	来所時は、手洗いの実施、また検温を記録することで個々の健康管理の実施、把握します。聴覚過敏の方や個別を求められる方へは、個別室を設置し、居心地よい空間づくりに工夫を入れております。昼食について施設で手作りした給食を提供し健康を心掛けています。身辺自立(食事や衣服の着脱、トイレ、歯磨きなど生活の基本的な動作)を図れるようスモールステップで支援しています。						
	運動・感覚	ヨーガ：明かりを静め、音楽を流し、深呼吸をして心を休めれる時間を作っています。 水・砂・粘土・スライム・絵の具などの感覚遊びを通して、さまざまな素材の感覚を感じ想像力や思考力を養います。 トランポリンを常時設置することで、体を動かしたい時に使用できるようにしています。						
	認知・行動	一日の流れを時間で決め、行動の切り替えを習慣化できる環境を整えています。デジタル時計とアナログ時計を照合し活動の場面の切り替えや移行できるよう行っています。日本の四季に寄り添った製作や活動を取り入れ、想像力や思考力などを養っています。読み聞かせをすることにより言語発達や読解力の向上、想像力の育成感情の理解や共感力の促進を目的に取り入れています。						
	言語コミュニケーション	非言語コミュニケーションとして指差しや身振り、ジェスチャーと共に、絵カードを複数用意しコミュニケーションの手段に活用し個々に合わせた意思疎通の支援を行っています。 SST：人に対する振る舞いや話し方など、人とよりうまく関わっていくために、遊びや日々の会話の中でのやりとりを大切にしています。						
	人間関係社会性	余暇時間では、個々の意思を尊重し個々の遊びの中で環境に対する安心感や人に対する信頼感を持てるようにしています。 外出時はルールやマナーの経験を積み、近隣の方と挨拶をしようなど社会性の向上に繋がっています。 ごっこ遊びで、模倣をしたり、ルールのある遊びを通して社会性の発達を支援します。 集団活動：ルールの理解や感情のコントロール、またはコミュニケーション能力の向上・自立心、社会性などを養う支援を行っています。						
家族支援	保護者・兄弟・祖父母の相談援助(6ヶ月ごとのモニタリング) 保護者への育児負担軽減を図る為、急遽利用を受け入れる。更に早朝・夕方送迎は保護者の就労時間に合わせ送迎しています。	移行支援		移行先(保育園/幼稚園/学校)・相談支援事業所との情報の共有等。				
地域支援・地域連携	児童と関わる地域の関係者/関係機関との連携(医療・福祉・教育)。 ・相談支援事業所との生活支援や発達支援における連携	職員の質の向上		外部研修、施設内研修				
主な行事等	(毎月)避難訓練(火災・地震など)・クッキング (季節の行事)お花見・プール遊び・ハロウィンパーティ・クリスマス会・ほっこりの里フェスティバル (長期休暇時)外食訓練・外出訓練・ドライブ遠足・近辺公園散歩・地域交流							